

市民（12歳以上18歳未満）

## アンケート調査から読み取れる声(抄)

### 問 9 町内会行事の参加

- ・「祭り」「文化祭」は、「参加したことがある」が増加、「参加したことが無い」が減少
- ・「清掃」「祭り」「運動会」「資源回収」「文化祭」「子ども会」「参加したい」が増加、「参加したくない」が減少

### 問 10 あなたが手助けできること

- ・「掃除や雪かき」は、「手助けできる」が増加、「手助けできない」が減少

### 問 12 ボランティア活動

- ・「子ども会」「祭りやイベント」「協同募金」は、「経験がある」が増加、「経験がない」が減少
- ・「子ども会」「清掃」「祭りやイベント」「協同募金」は、「参加したい」が増加、「参加したくない」が減少

### 問 13 ボランティア活動を一緒に行った人

- ・「友だちと」が増加、「グループ」、「団体」、「学校」、「家庭」、「近所」が減少

### 問 14 ボランティア活動をしたきっかけ

- ・「人に誘われて」、「するのが当然」、「面白そう」、「やってみたい」が増加、「学校」、「頼まれた」が減少

### 問 17 まちで困っている人を見かけた時の手助け

- ・「困っている人を積極的に助けている」が増加

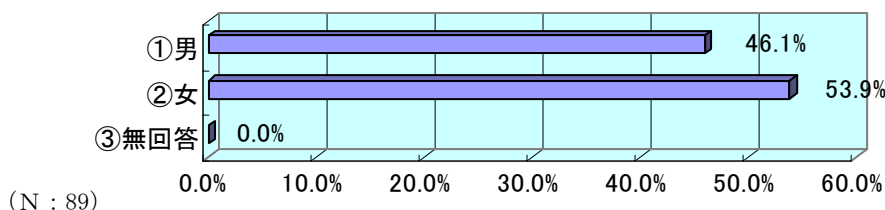
### 問 20 住み慣れた地域で安心して生活していくために必要なこと

- ・「あいさつ」が約 7 割

## ■回答者の属性

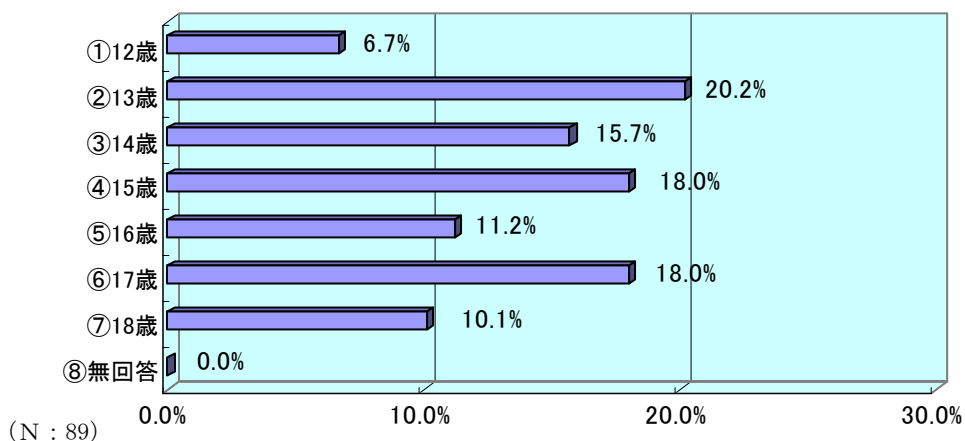
### 問 1 性別

回答者の総数は 89 人で、女性が 53.9%、男性が 46.1%で女性が男性を 7.8 ポイント上回っています。



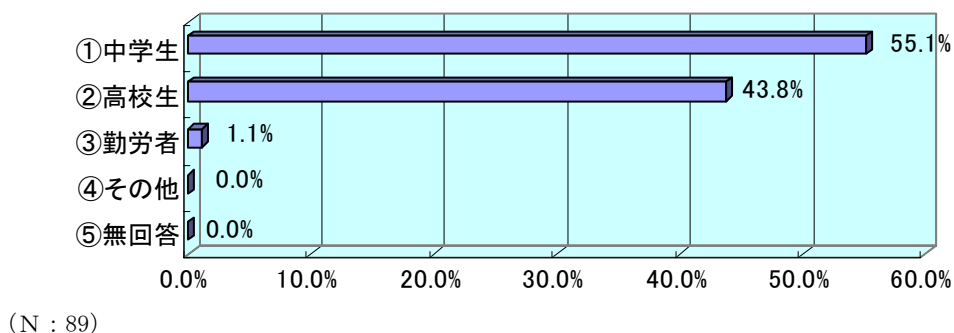
### 問 2 年齢

回答者の年代は、13 歳が 20.2%で最も多く、次いで多い順に 15 歳、17 歳、14 歳となっています。



### 問 3 就学及び就業区分

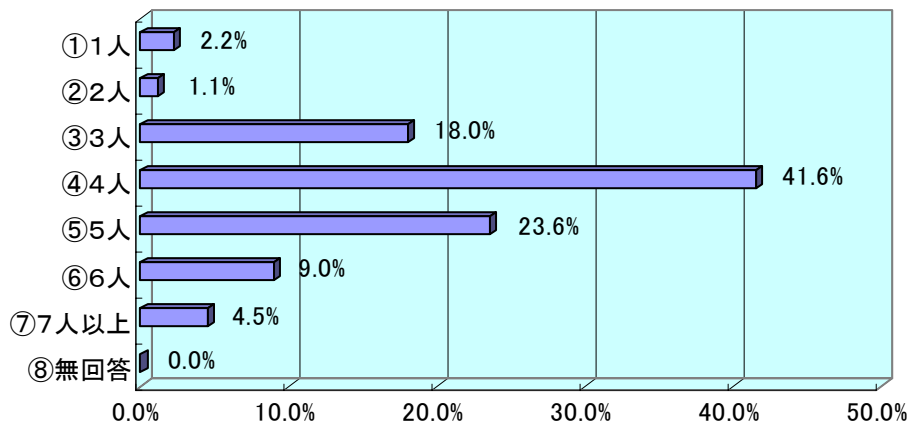
回答者が在学中であれば中学生または高校生、在学中でなければ就業中かを尋ねたところ、中学生が 55.1%、高校生が 43.8%で中学生の回答が高校生の回答を 11.3 ポイント上回っています。就業中の回答者は 1.1%（1 人）でした。



**問 4 同居の家族数**

現在一緒に暮らしている本人を含めた家族数を尋ねたところ、「4人」が41.6%で最も多い家族数となっています。

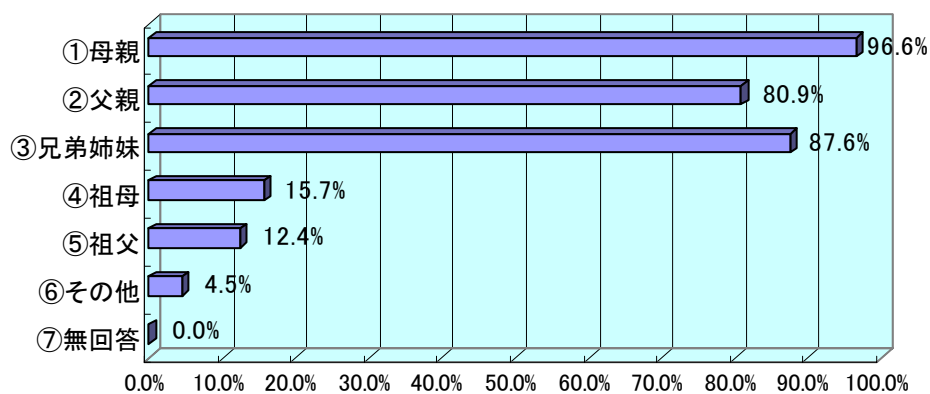
回答のあった89人の平均家族数を見ると4.3人となっています。



(N : 89)

**問 5 同居の家族**

現在一緒に暮らしている家族は誰か（単身赴任など仕事の都合で一時的に別に暮らしている場合は、一緒に暮らしているとします）を尋ねたところ、「母親」、「父親」、「兄弟姉妹」の家族構成が87.6%以上となっています。

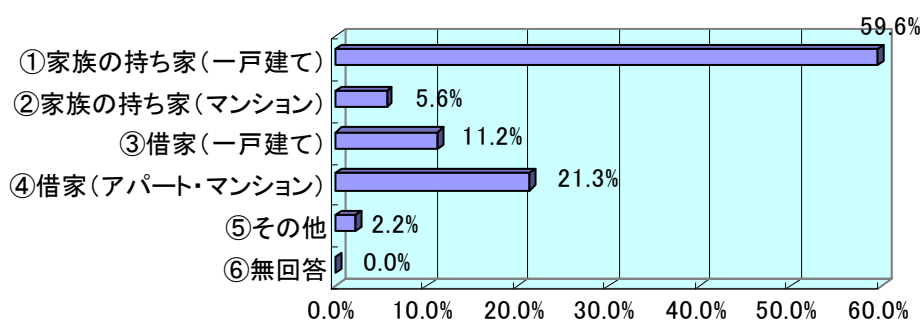


(N : 89)

### 問 7 暮らしている住宅

暮らしている住宅の種類では、「家族の持ち家（一戸建て）」が 59.6%で最も多く、次いで「借家（アパート、マンション）」の 21.3%となっています。

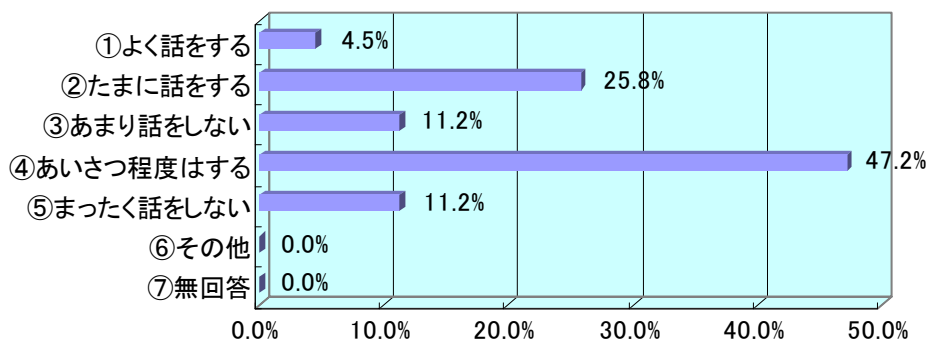
「家族の持ち家（一戸建て+マンション）」が 65.2%、「借家（一戸建て+マンション）」が 32.5%となっています。その他では、「寮」の回答がありました。



(N : 89)

### 問 8 近所の大人とどのような付き合いをしているか

近所の大人とどのような付き合いをしているか尋ねたところ、約半数の 47.2%が「あいさつ程度はする」と答えています。また、約 4 人に 1 人の 25.8%が「たまに話をする」と答えています。



(N : 89)

■地域社会について

問 9 町内の行事の参加状況、参加意向

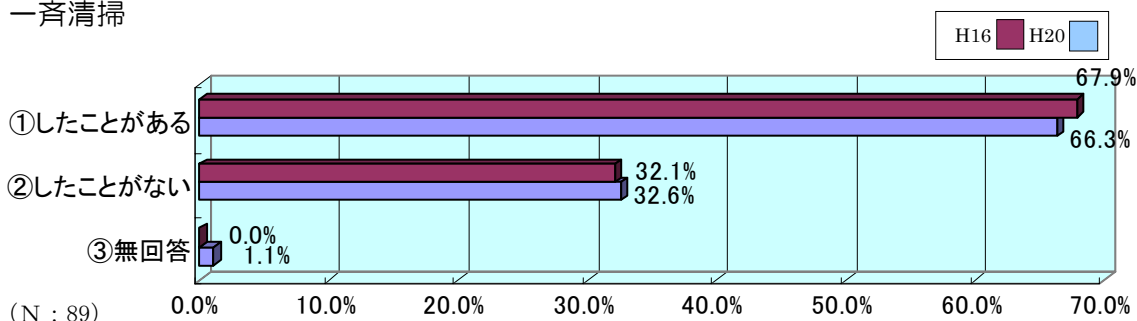
【参加状況】

町内の行事の参加状況を見ると、以下のグラフのようになっています。

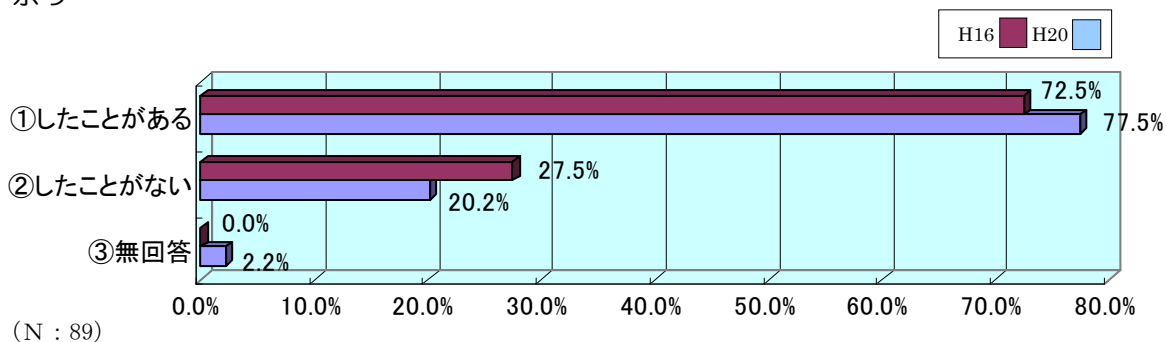
参加したことがある行事では、特に「子ども会行事」の 79.8%、「資源回収」の 78.7%、「祭り」の 77.5%が高い参加率となっています。

今回のアンケート調査で新規の問の「世代間交流」については、34.8%の参加率となっています。

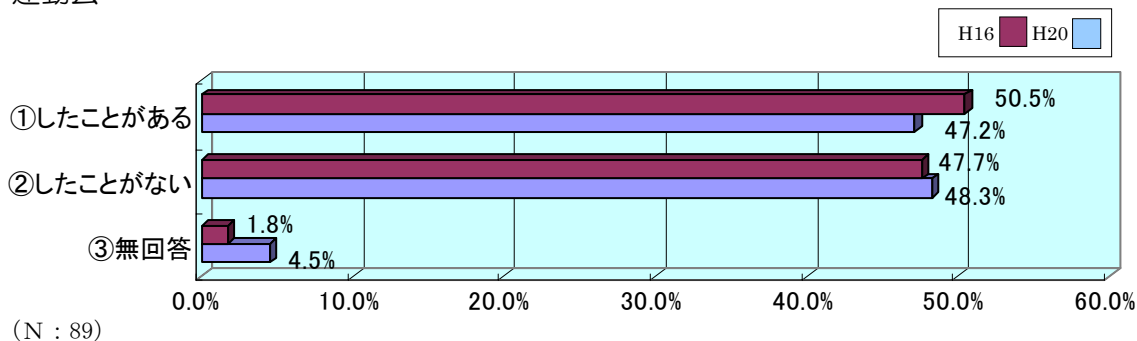
(1) 一斉清掃



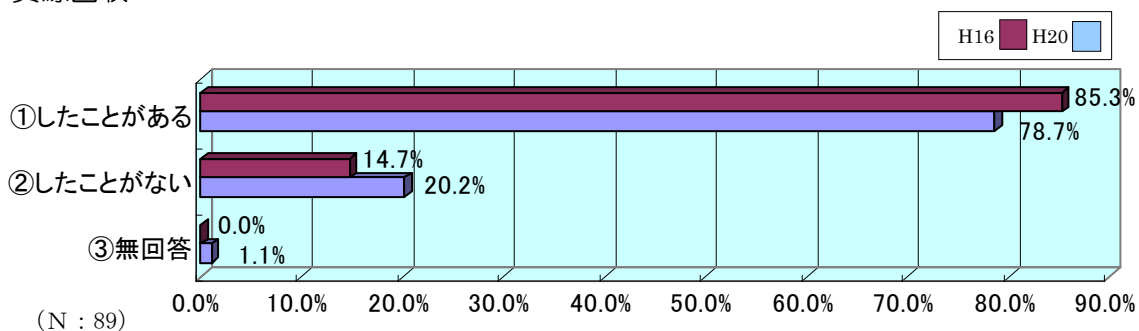
(2) 祭り



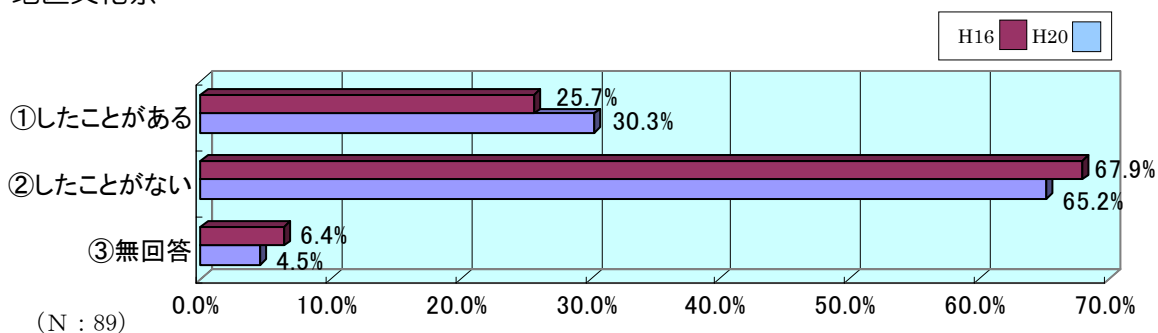
(3) 運動会



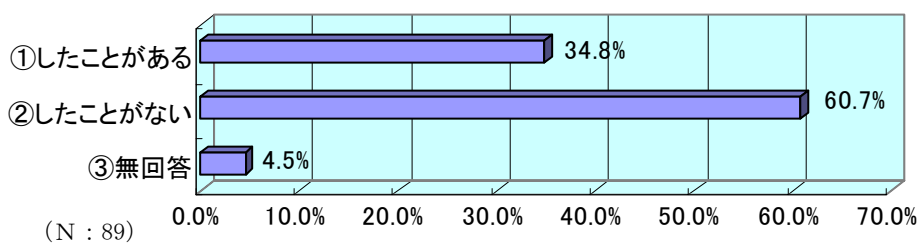
(4) 資源回収



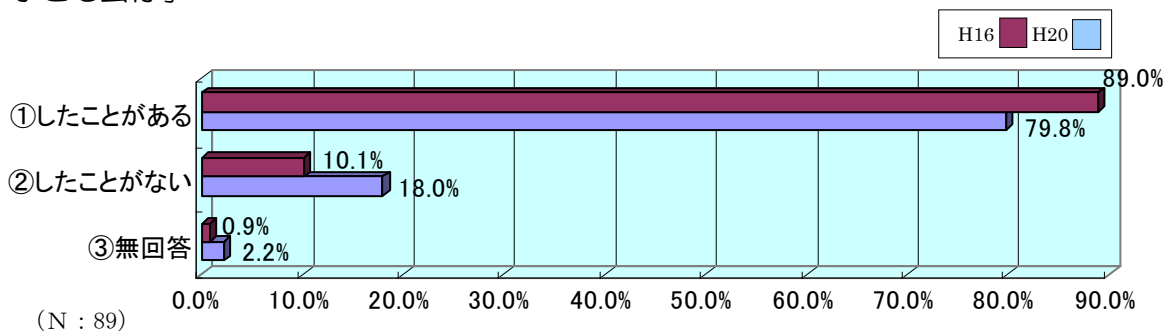
(5) 地区文化祭



(6) 世代間交流【新規の問】



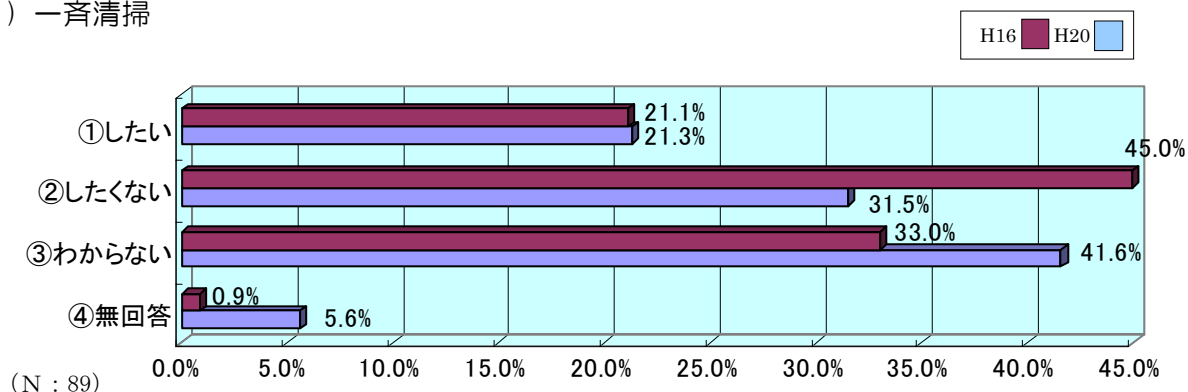
(7) 子ども会行事



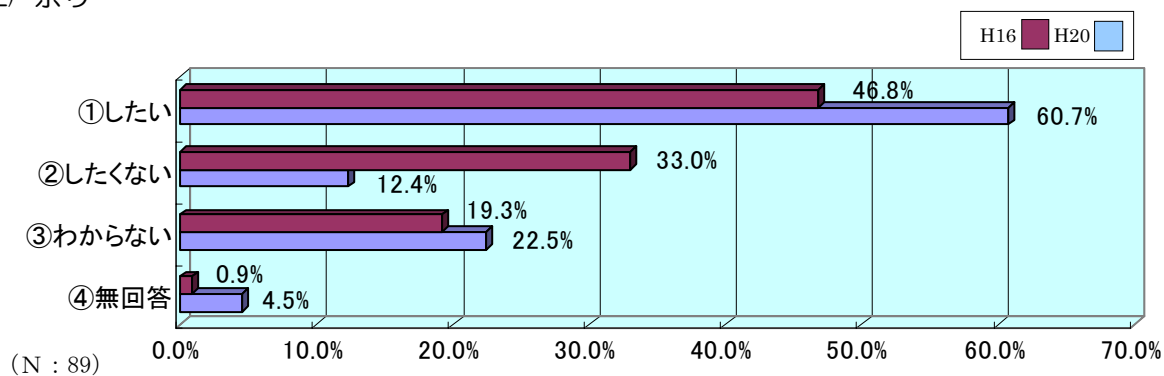
【参加意向】

町内の行事の参加意向を見ると、「祭り」が 60.7% で、最も多くが参加したい町内行事となっています。「参加したい」及び「参加したくない」と回答した割合を比較すると、「祭り」は「参加したい」が「参加したくない」を 48.3 ポイント上回っている以外はすべての行事で「参加したくない」が「参加したい」を上回っています。

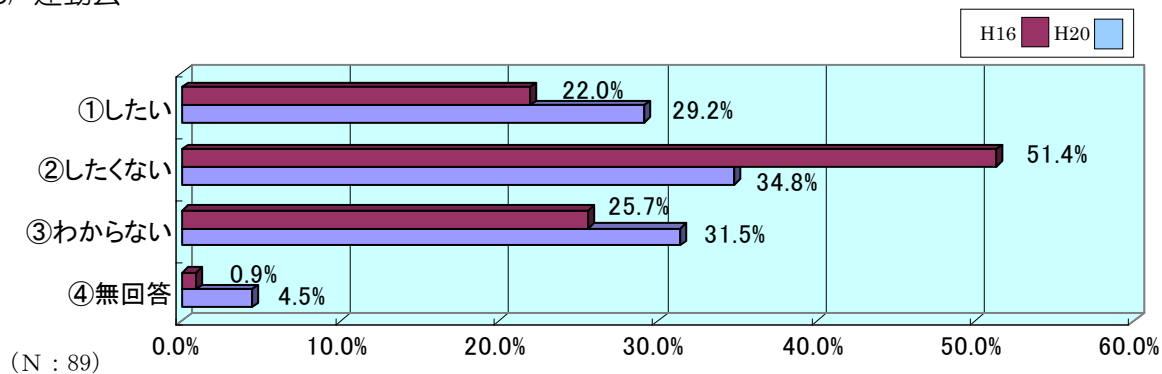
(1) 一斉清掃



(2) 祭り

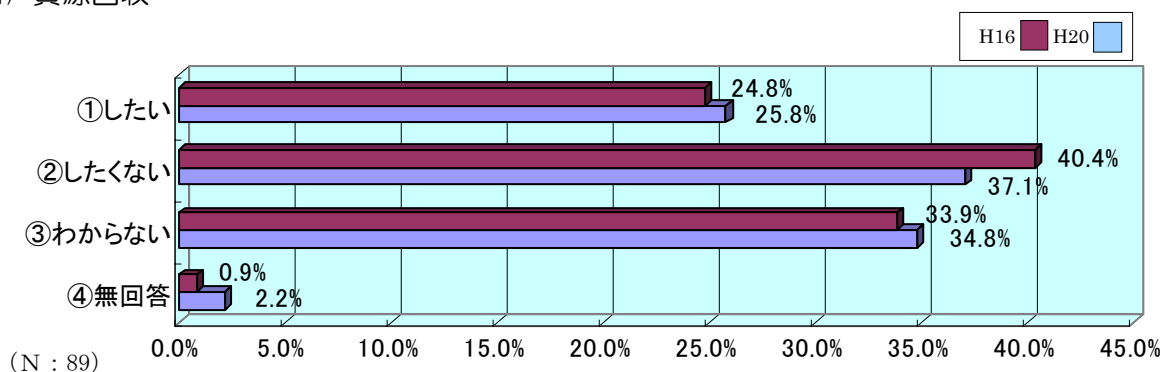


(3) 運動会

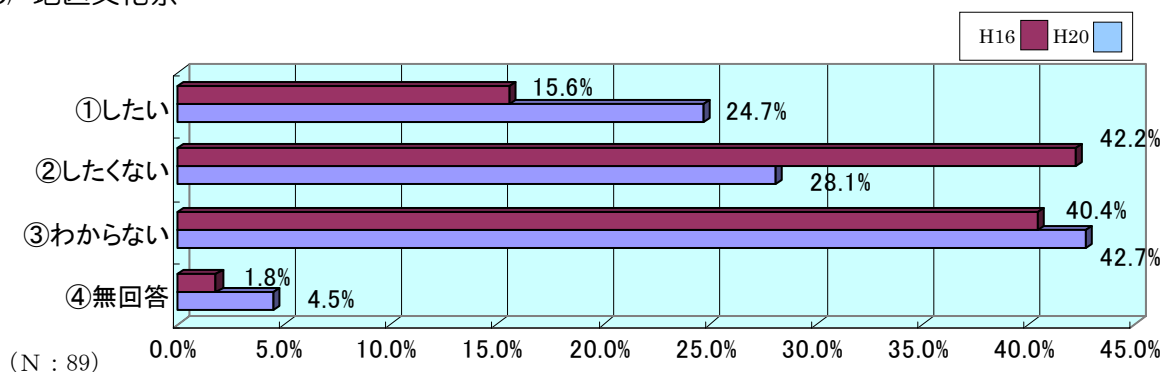




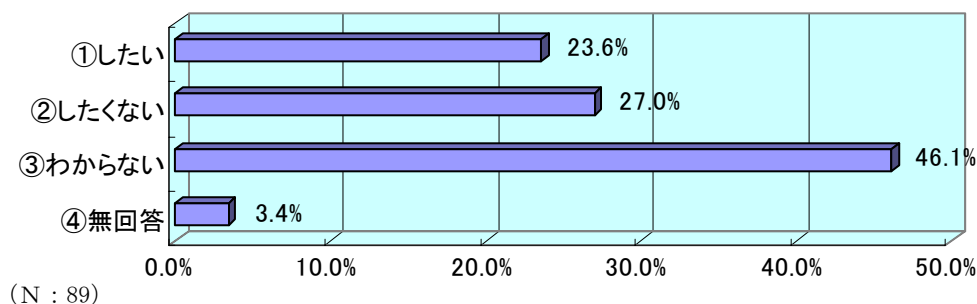
(4) 資源回収



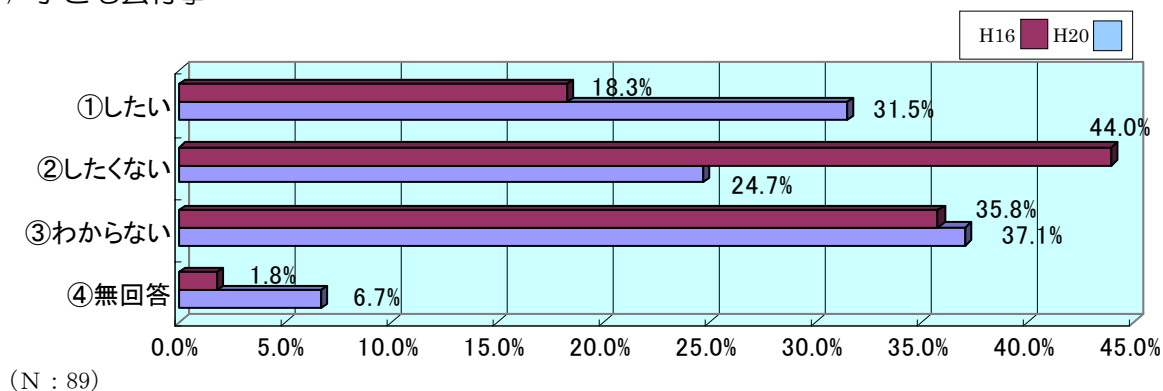
(5) 地区文化祭



(6) 世代間交流【新規の問】



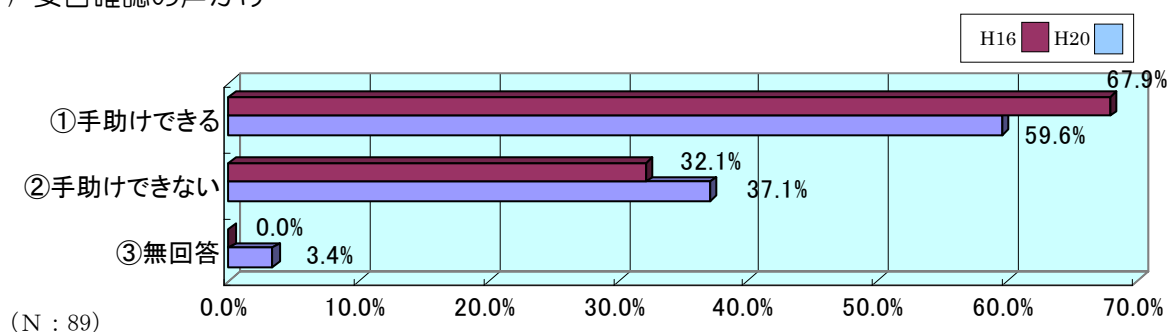
(7) 子ども会行事



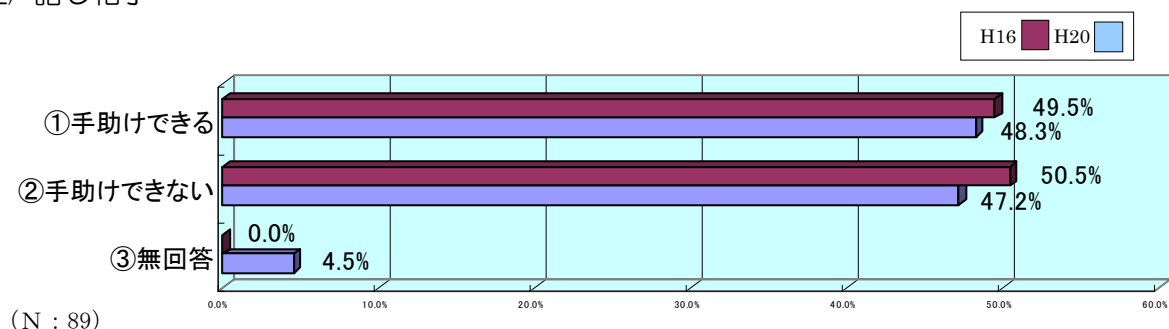
**問 10 近所で困っている家があった場合、手助けできること**

近所で困っている家があった場合に、「手助けできること」を回答割合の高い順に見ると、「玄関前の掃除や除雪」が 78.7%、「安否確認の声かけ」が 59.6%、「ごみ出し」が 53.9%となっており、上位 3 番目までは、50%以上の回答となっています。

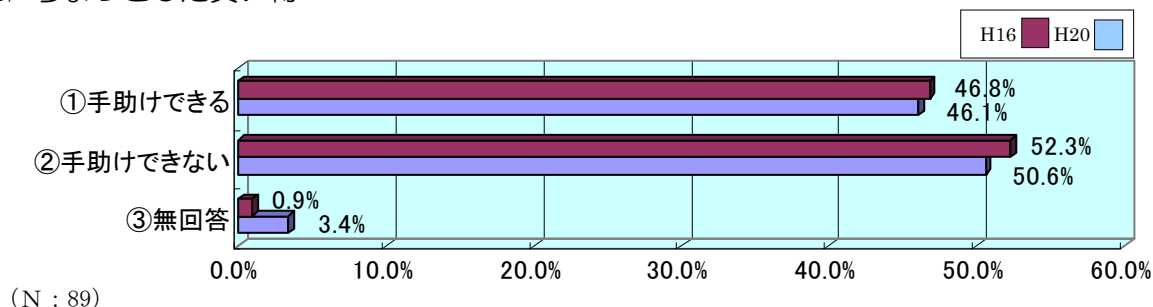
(1) 安否確認の声かけ



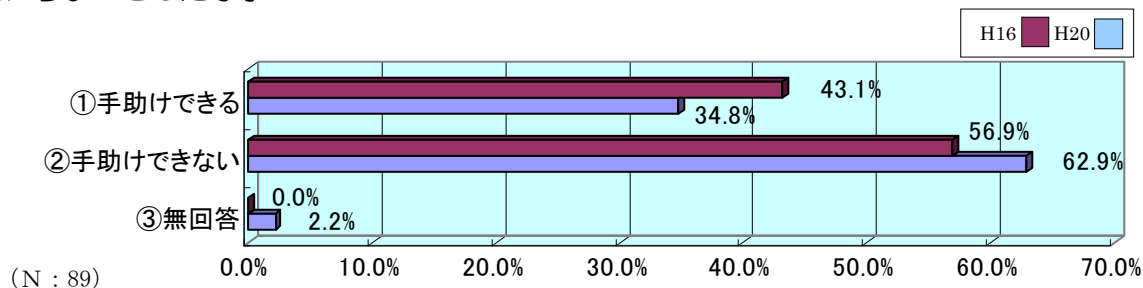
(2) 話し相手



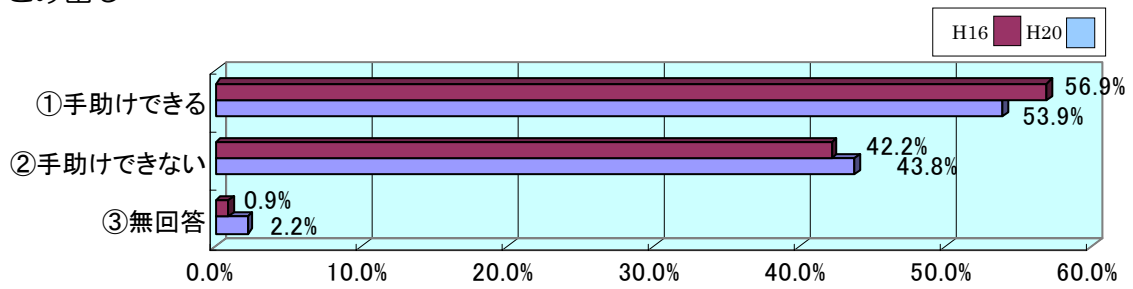
(3) ちょっとした買い物



(4) ちょっとした家事

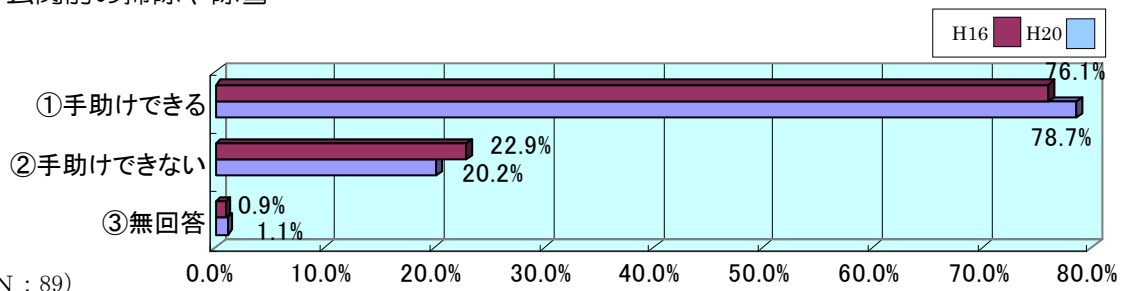


(5) ごみ出し



(N : 89)

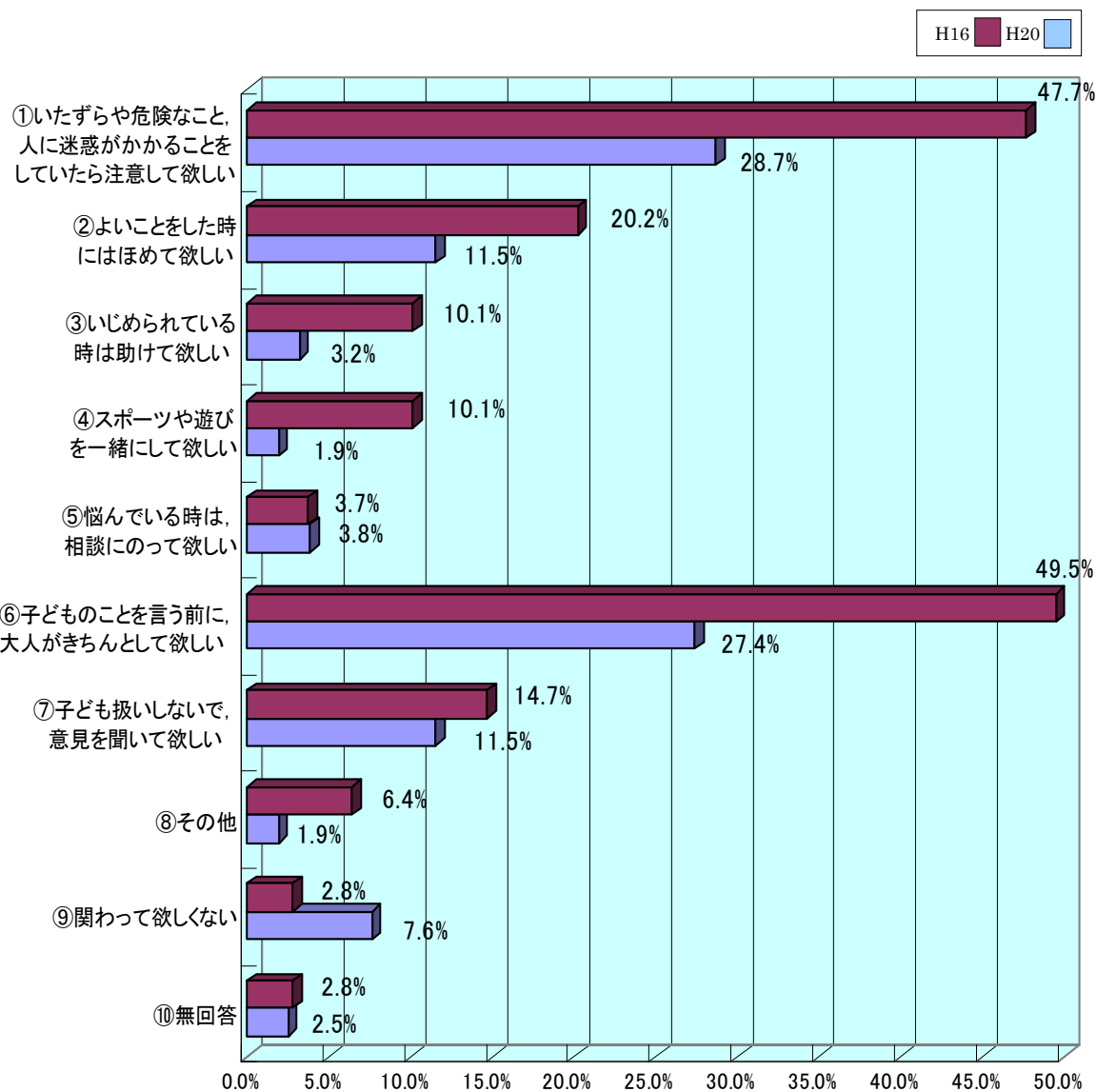
(6) 玄関前の掃除や除雪



(N : 89)

問 11 子どもたちに対して、隣近所や地域の大人達にしてもらいたいこと(2つまで)

子どもたちに対して、隣近所や地域の大人達にしてもらいたいことについて尋ねたところ、「いたずらや危険なこと、人に迷惑がかかることをしていたら注意をして欲しい」が 28.7%、「子どものことを言う前に、大人がきちんとして欲しい」が 27.4%と上位にあげられた 2 項目は、他の項目と比較して 2 倍以上と特に多い意見となっています。



(N : 89)

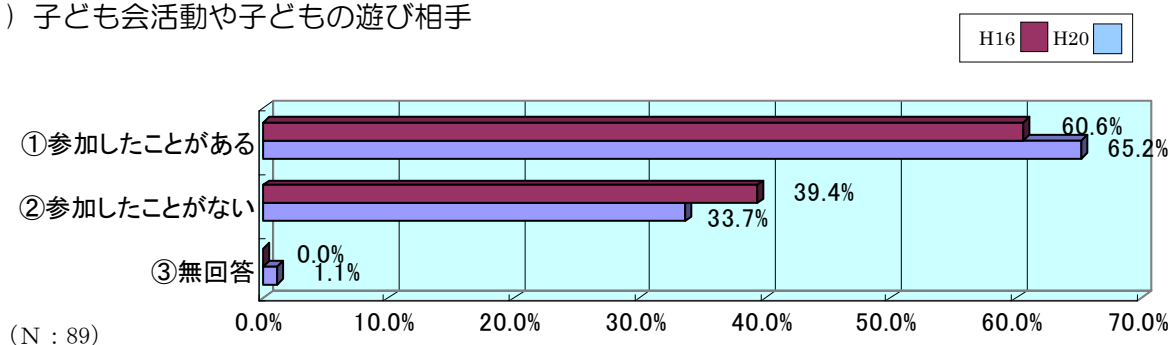
■ ボランティア活動について

問 12 参加経験のあるボランティア活動、参加してみたいボランティア活動

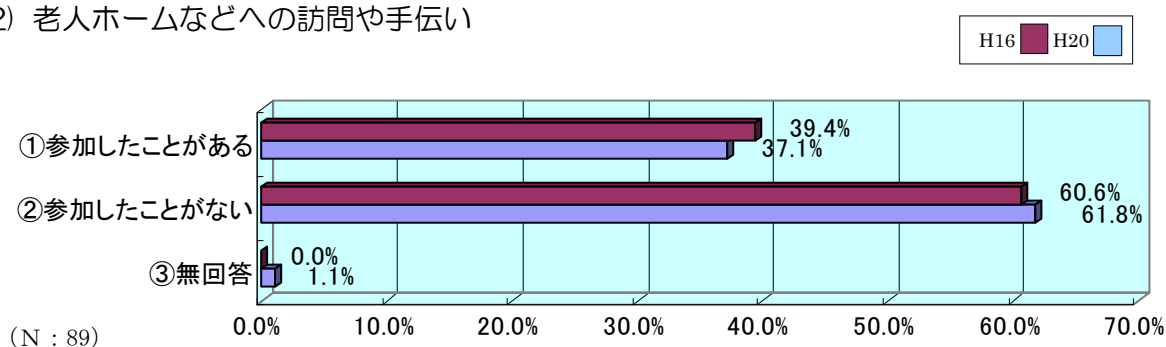
【参加経験のあるボランティア活動】

参加経験のあるボランティア活動では、「清掃・美化、ごみ・リサイクル」、「子ども会活動や子どもの遊び相手」などが参加経験の多いボランティア活動となっています。

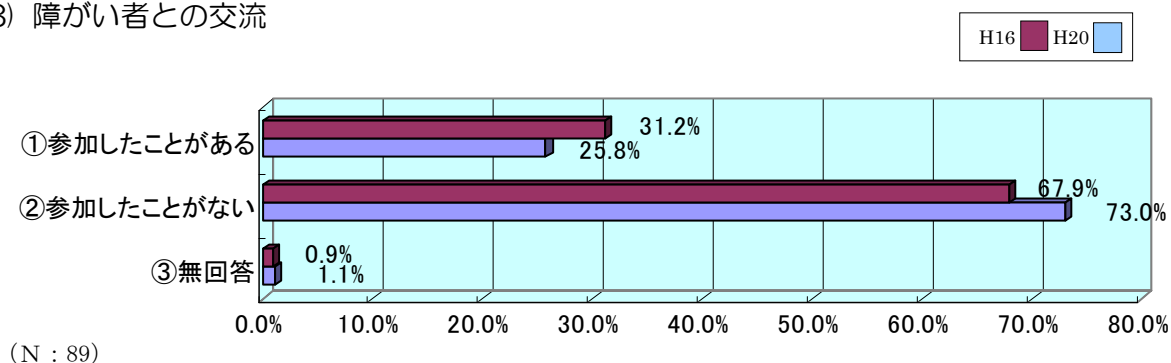
(1) 子ども会活動や子どもの遊び相手



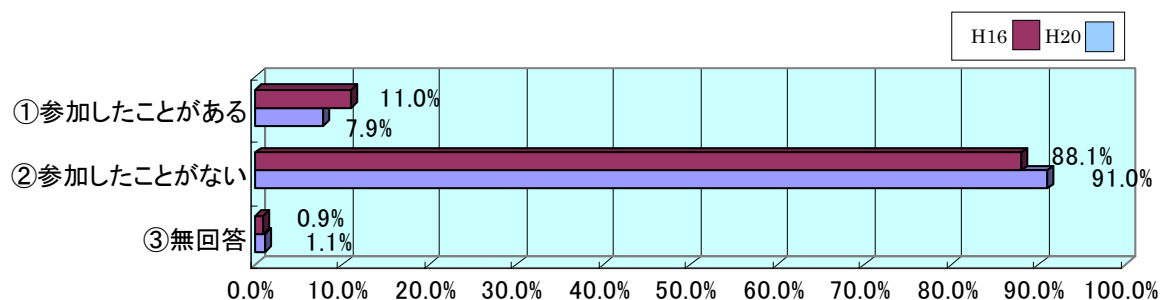
(2) 老人ホームなどへの訪問や手伝い



(3) 障がい者との交流

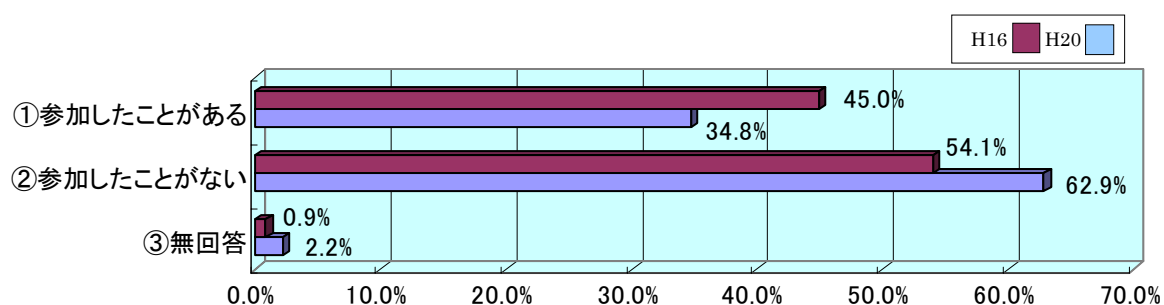


(4) 手話通訳、点字翻訳や朗読



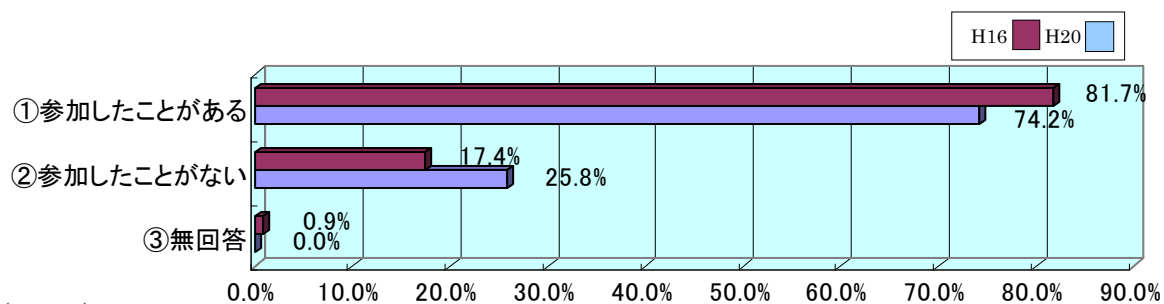
(N : 89)

(5) 自然環境の保護



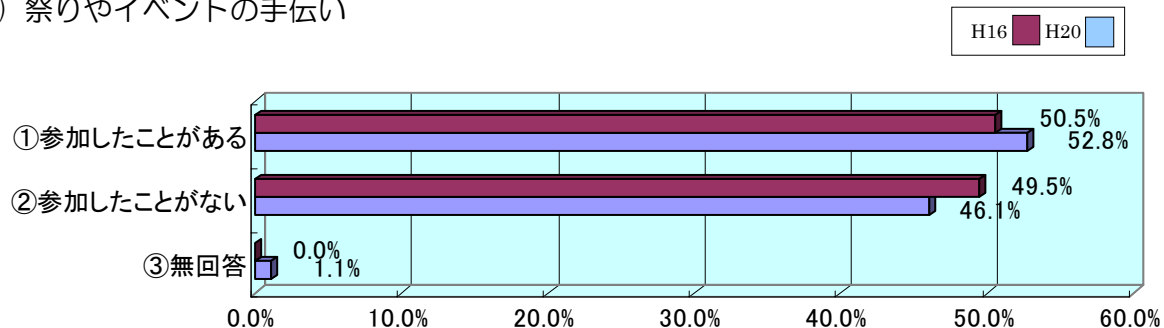
(N : 89)

(6) 清掃・美化、ごみ・リサイクル



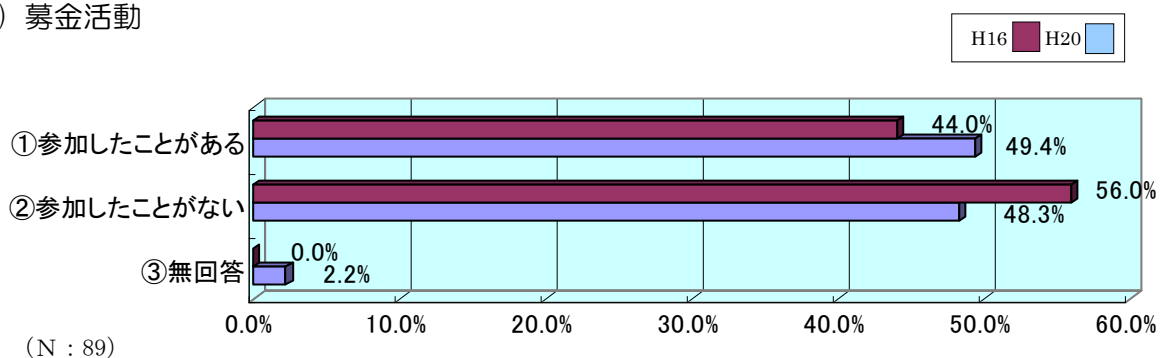
(N : 89)

(7) 祭りやイベントの手伝い



(N : 89)

(8) 募金活動

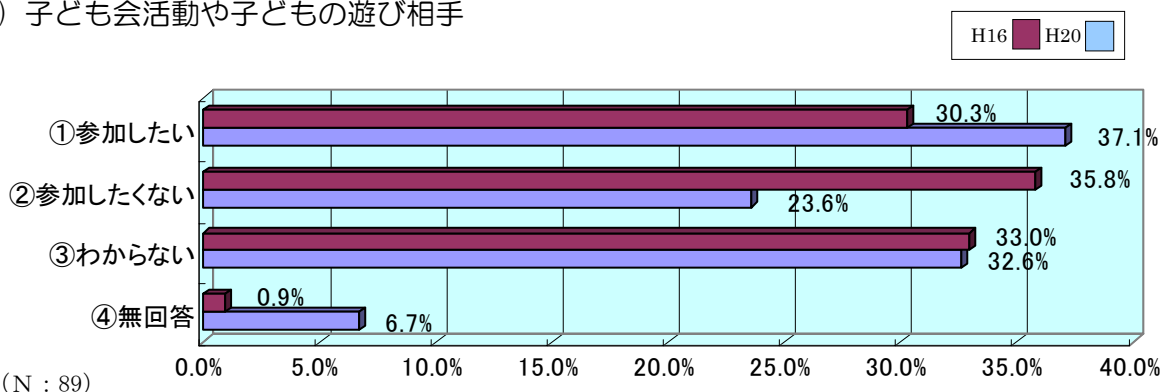


【参加意向】

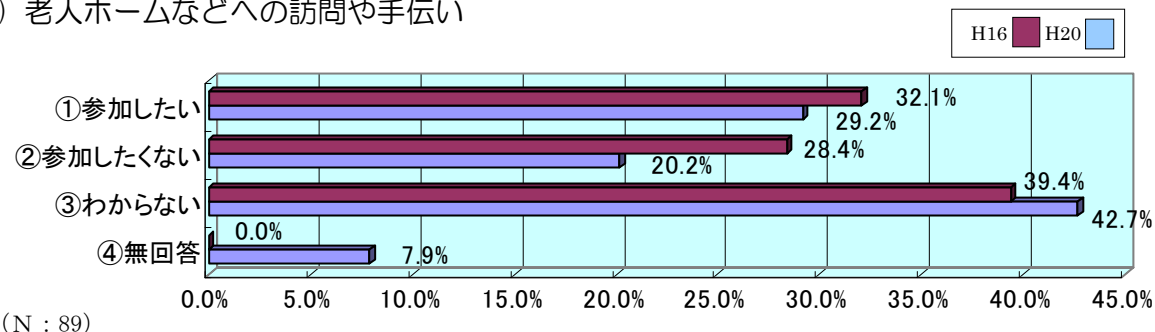
参加してみたいボランティア活動では、「祭りやイベントの手伝いボランティア活動」が 55.1%で最も高く、次いで「募金活動」が 46.1%となっています。

また、参加したくないボランティア活動では、参加経験で最も低い「手話通訳、点字翻訳や朗読」が参加意向でも同様に最も低いボランティア活動となっています。

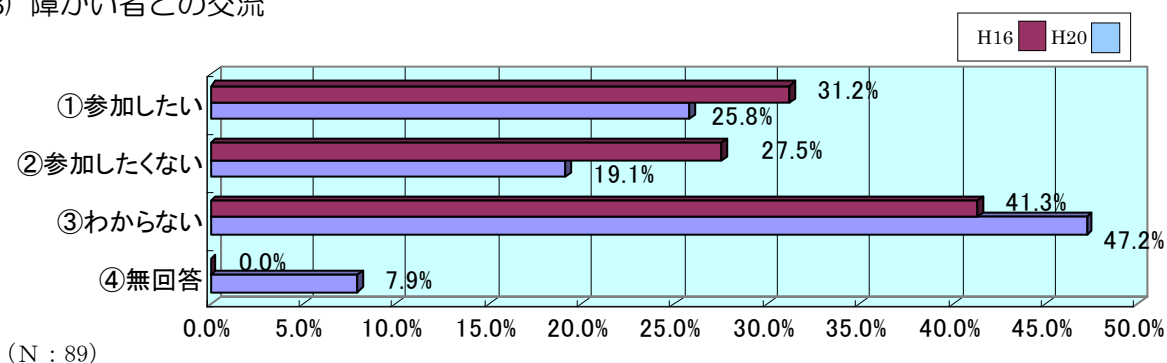
(1) 子ども会活動や子どもの遊び相手



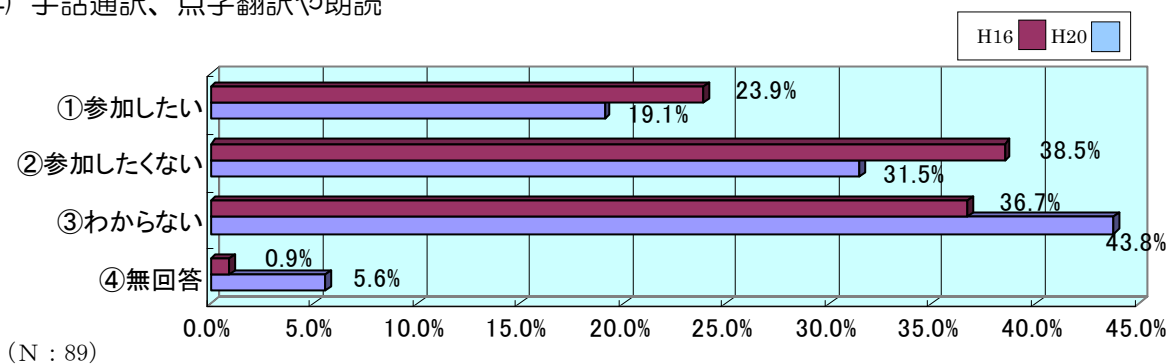
(2) 老人ホームなどへの訪問や手伝い



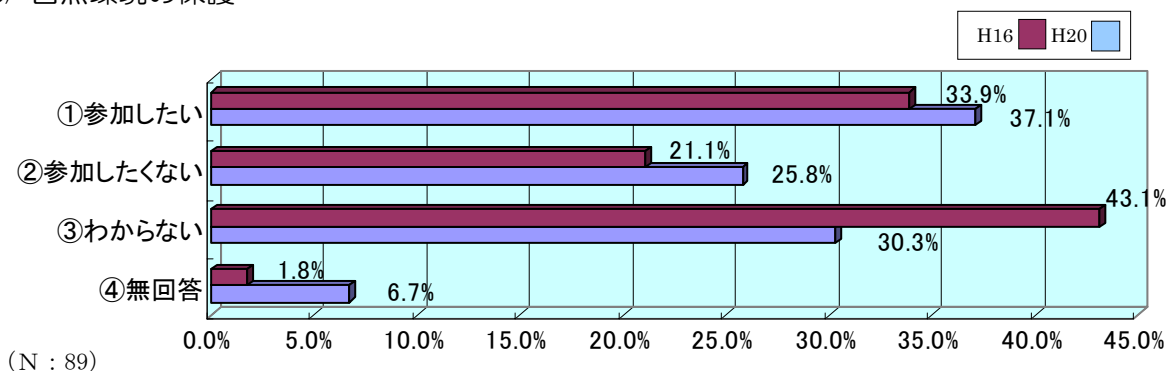
(3) 障がい者との交流



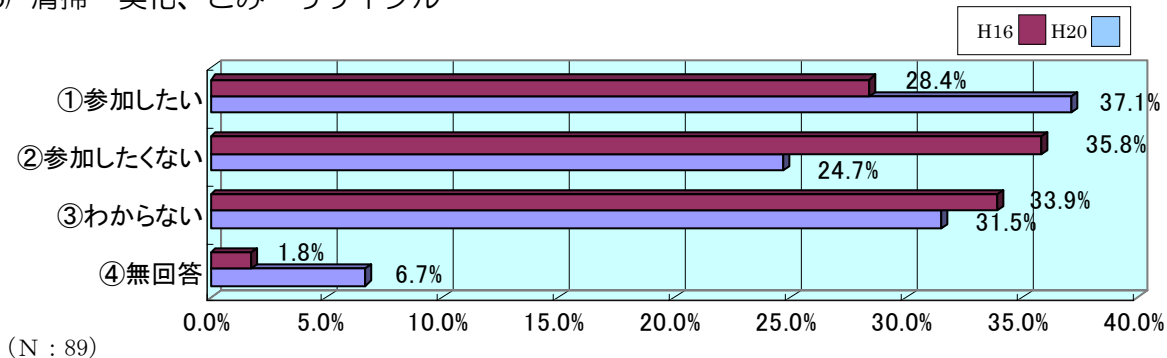
(4) 手話通訳、点字翻訳や朗読



(5) 自然環境の保護

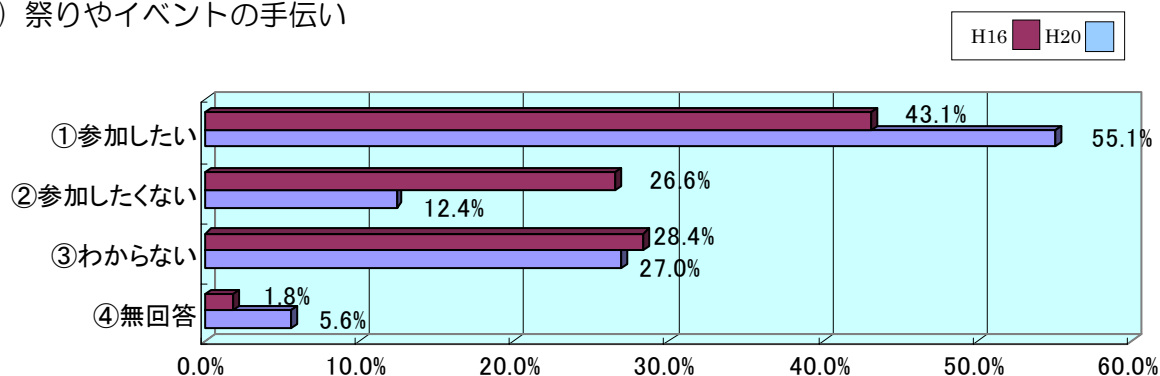


(6) 清掃・美化、ごみ・リサイクル



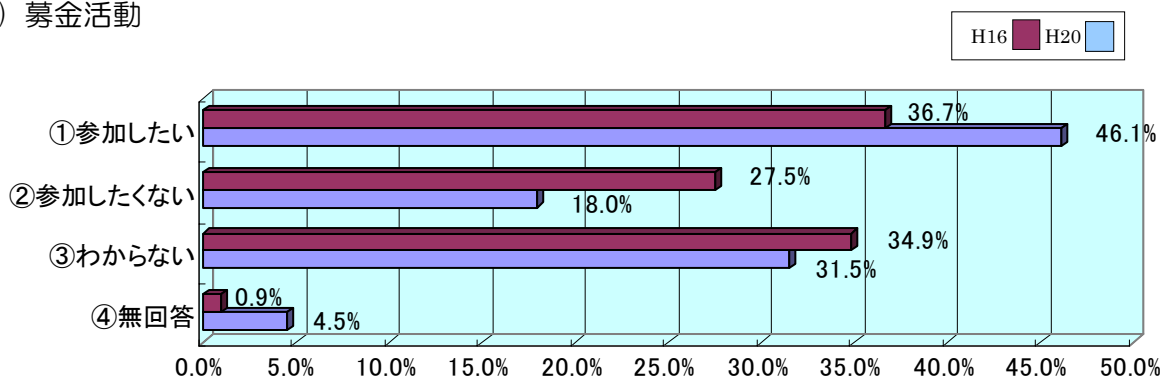


(7) 祭りやイベントの手伝い



(N : 89)

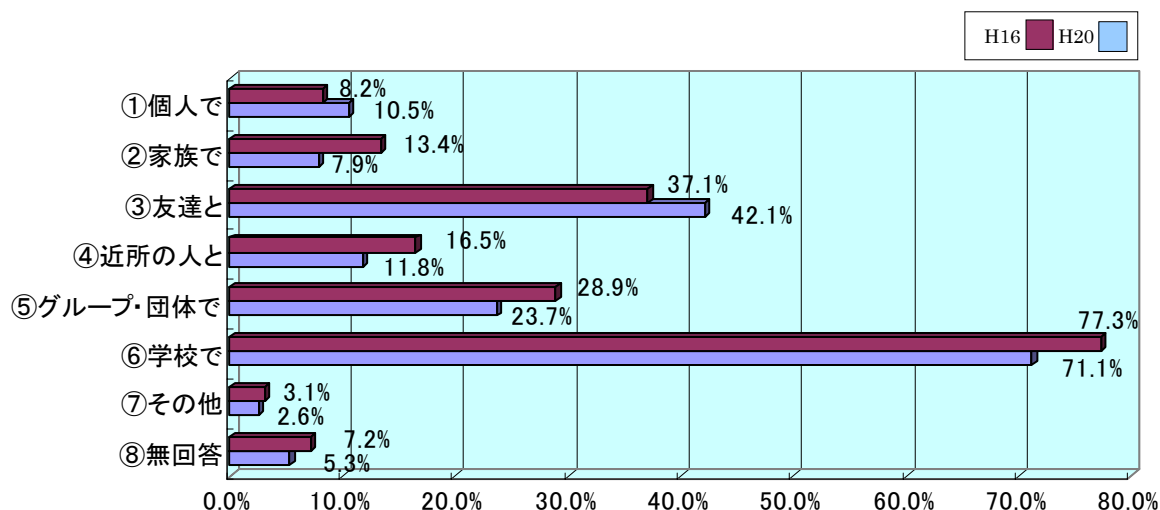
(8) 募金活動



(N : 89)

**問 13 誰と一緒にボランティア活動をしたか(あてはまるものすべて)**

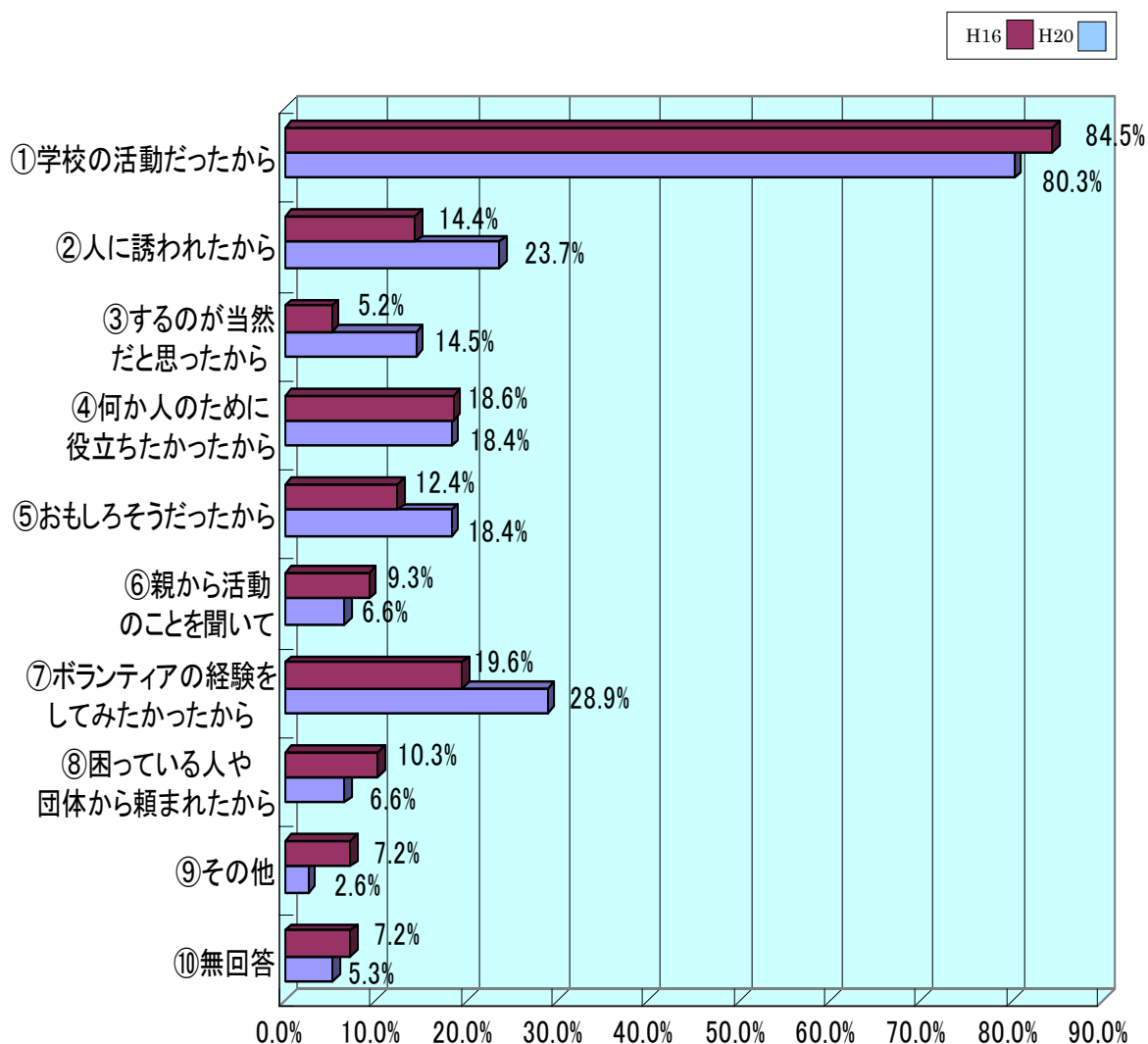
ボランティア活動に参加経験があると回答した 76 人に誰と一緒にボランティア活動をしたか尋ねたところ、「学校で」が 71.1%と最も多い回答となっています。授業や課外活動にボランティア活動を導入するケースが増えていることが背景にあると推測されます。次いで、「友達と」が 42.1%となっています。



(N : 76)

問 14 ボランティア活動をしたきっかけ(あてはあるものすべて)

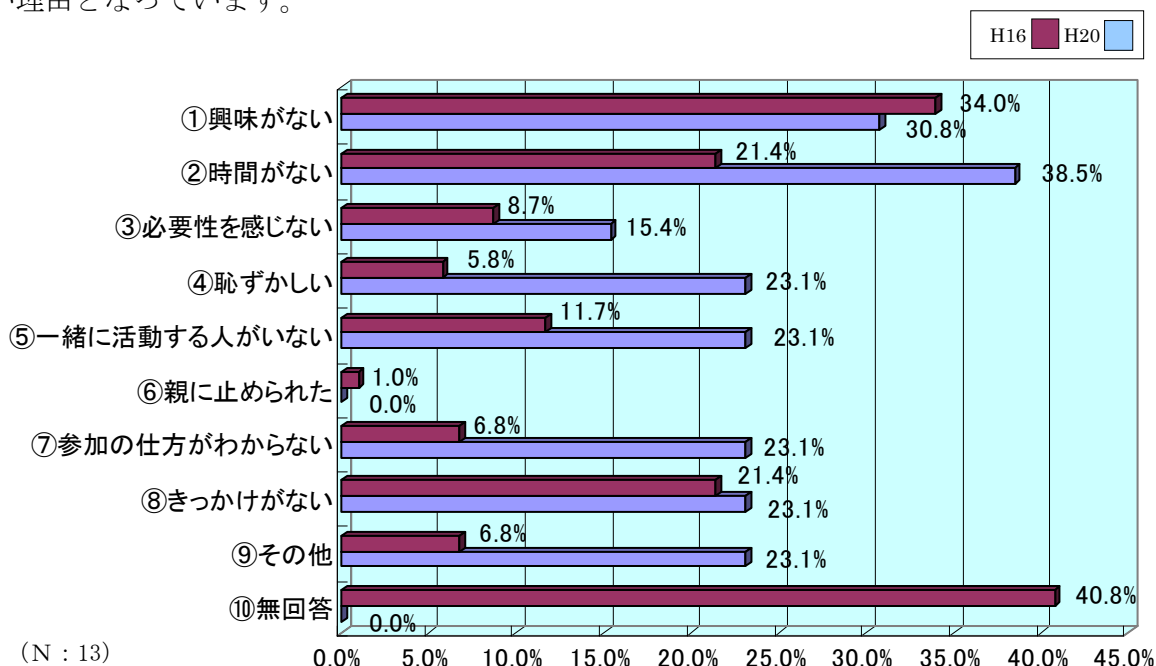
ボランティア活動をしたきっかけでは、問 13 で「学校で」が最も多い回答であったのを反映し、「学校の活動だったから」が 80.3%で最も多い回答となっています。



(N : 76)

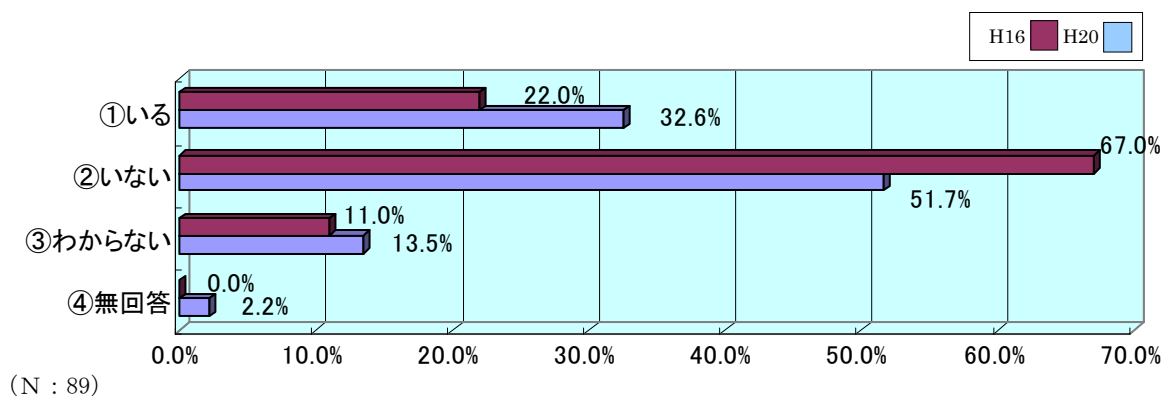
**問 15 ボランティア活動に参加したことがない、または参加したくない理由(3つまで)**

問 12 でいずれかのボランティア活動に「参加したことはない」または今後の参加希望で「参加したくない」と回答した 13 人にその理由を尋ねたところ、「時間がない」が 38.5%で最も多い理由となっています。



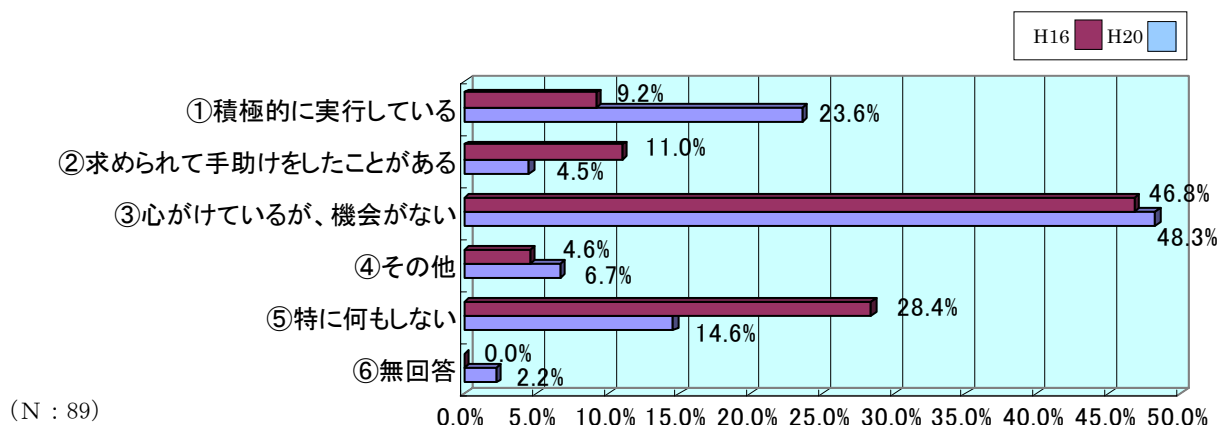
**問 16 家族や友人・知人など身近な人に、障がいのある人や手助けが必要な人がいるか**

家族や友人・知人など身近な人に、障がいのある人や手助けが必要な人がいるかどうかを見ると、32.6%が「いる」と回答しています。



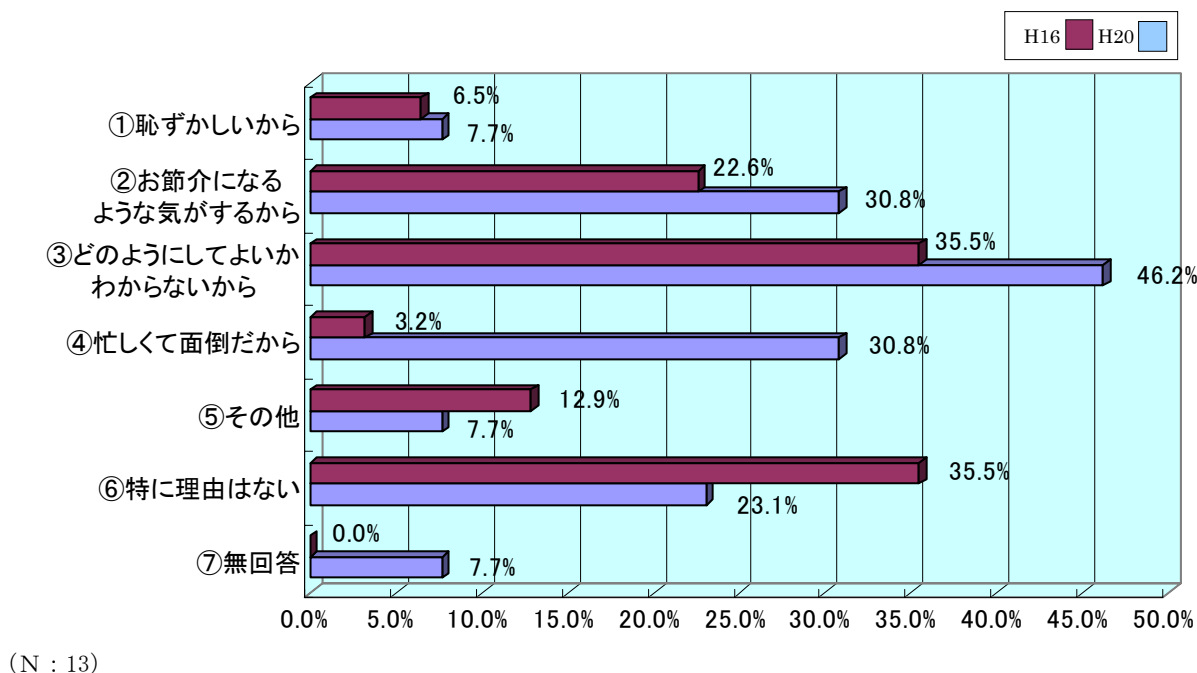
**問 17 まちで困っている人を見かけた時、手助けをしているか**

まちで困っている人を見かけた時、階段やスロープで車いすを手助けしたり、交差点で誘導したり、バス・電車で席を譲るなどの手助けをしているか尋ねたところ、「心がけているが、機会がない」が 48.3%と最も多く、「積極的に実行している」は 23.6%となっています。



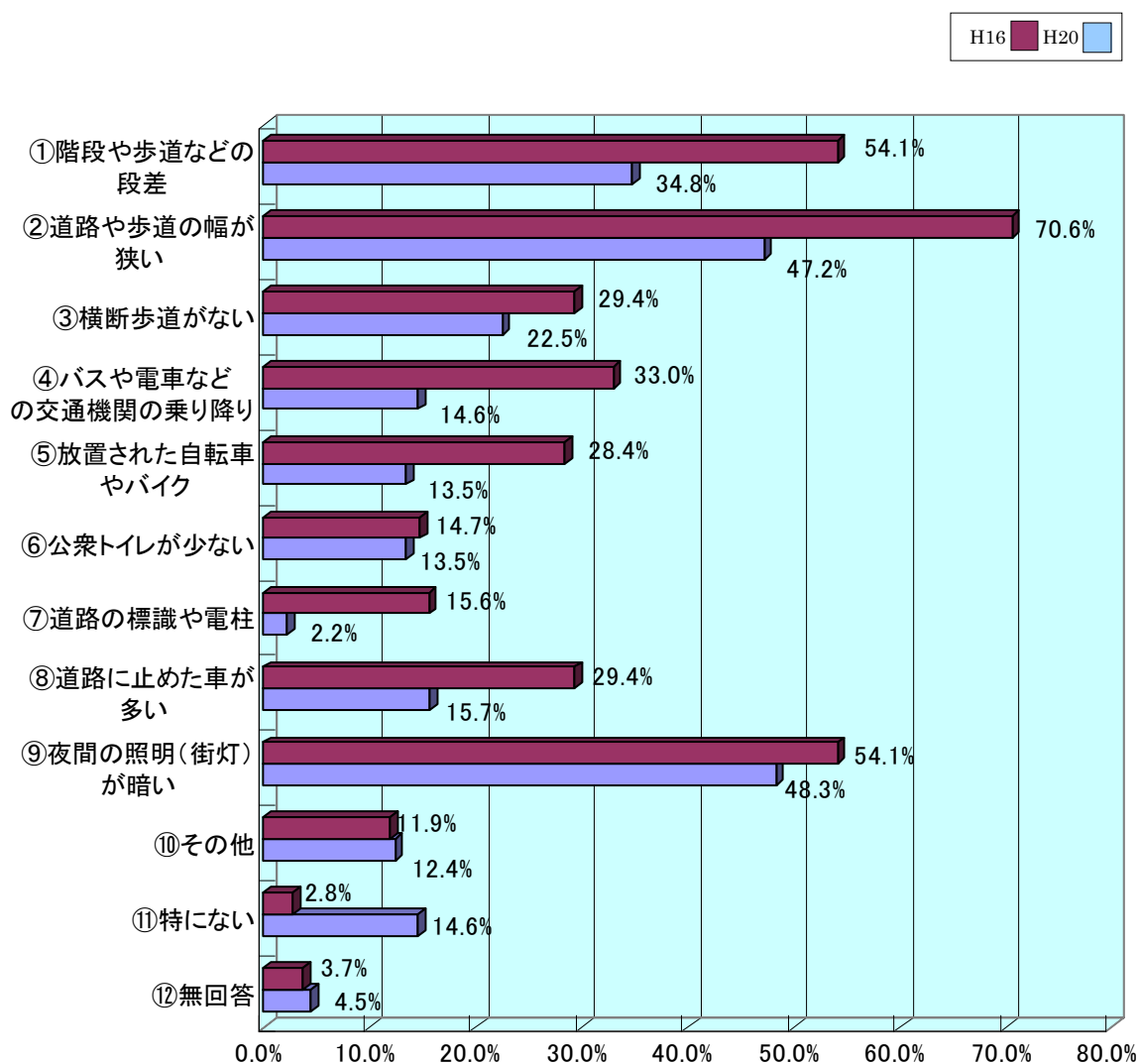
**問 18 問17で特に何もしない理由(あてはまるものすべて)**

まちで困っている人を見かけた時に「特に何もしない」と回答した 13 人の理由を見ると、「どのようにしてよいかわからないから」、「特に理由はない」がともに 35.5%で最も多い回答となっています。



**問 19 小さい子どもを連れてた親、障がいをもった人等が危ないと思われるところ(あてはまるものすべて)**

普段の生活で、小さい子どもを連れてた親、障がいをもった人、お年寄りなどにとって大変だったり、危ないと思われるような所があるか尋ねたところ、「夜間の照明（街灯）が暗い」が 48.3%、「道路や歩道の幅が狭い」を 47.2%、次いで「階段や歩道の段差」が 34.8%となっています。



(N : 89)

**問 20 誰もが住み慣れた地域で安心して生活するために必要なこと(あてはまるものすべて)**

誰もが住み慣れた地域で安心して生活するために必要なことを尋ねたところ、「あいさつから始まる近所付き合い」が 73.0%と高い割合を示しています。

